

◆◆ 大学等との技術開発懇談会

＝目的＝

当懇談会は、個性のある四国の地域づくりに向けて、四国地方整備局の各種事業をより効率的・効果的に推進していくために、地元大学との連携を通じて、真に四国地域に合致した技術開発の活用により、円滑な基盤整備を図ることを本会の目的としています。

＝経緯＝

平成8年度より徳島大学及び愛媛大学について、四国技術事務所とで、学識経験者と建設行政の立場から「新技術に関する意見交換」の場として開催しています。

平成12年度より4県の大学との技術開発懇談会として、

- ①各事務所の事業説明及び課題の提供
- ②官・学における研究報告
- ③情報共有の為の意見交換等を実施しています。



高知地区（高知工科大学）

▼各事務所の事業発表

【徳島河川国道事務所】

- 新技術を用いた道路の“賢い利用”について
- 河道内の地中堆積物から見る洪水時の河床変動現象の推定

【那賀川河川事務所】

- ALB(航空レーザー測深)を活用した河道管理について

【吉野川ダム統合管理事務所】

- 銅山川3ダム連携によるゲート工事の効率化

【香川河川国道事務所】

- 土器川河床安定化対策等について

【松山河川国道事務所】

- 松山河川国道事務所管内の本年度豪雨・台風による被災状況と対応

【高知河川国道事務所】

- 日下川浸水予測システムについて

【中村河川国道事務所】

- 国・県・市・関係機関の連携による渡川流域を対象したタイムライン策定の取組み
- 国道441号四万十川観光ルートにおける道の駅の割引サービスと連携した混雑緩和の取組み

【高知港湾・空港整備事務所】

- 港湾における農水産品の輸出促進に向けた取組み

【高松港湾空港技術調査事務所】

- 巨大地震・津波に対する防波堤の粘り強い対策に向けた取組み

【松山港湾・空港整備事務所】

- 松山港外港地区国際物流ターミナルの整備について

【小松島港湾・空港整備事務所】

- 撫養港海岸直轄海岸保全施設整備事業について

▼大学の研究テーマ等の発表

【徳島大学】

→液状化による地盤沈下を考慮した津波浸水予測について

【阿南高専】

→四国におけるコンクリートの乾燥収縮低減策に関する実験的検討

【香川大学】

→機械学習によるインフラ（港湾、道路、橋梁、トンネルなど）について

→地震発生直後の道路ネットワーク復旧戦略の検討

→2018年7月豪雨による香川県の河川被害状況について

【香川高専】

→洗掘による河川構造物への影響が深刻な現場におけるモニタリング手法の検討

→巨大災害発生時での四国地域内物資輸送道路の確保に関する考察について

【愛媛大学】

→平成30年7月豪雨被害調査について

→振動を利用した斜面危険度評価法

→路面性状を考慮した事故リスク分析について

→低消費電力長距離型（LPWA）無線ネットワークによる災害監視
システムの開発・運用について

【高知大学】

→2016年以降急速に普及している新たなレンタサイクルサービスの課題

【高知工科大学】

→「コンストラクションマネジメント」講義の実施について

→まちと里山の気象環境

【高知高専】

→『土佐清水ジオパーク認定に向けてのリ・ビルド・ザ・サイト（土木建築・ランドスケープ）
的側面からの研究』